

平成25年度 三木市下水道事業会計決算のあらまし

下水道は、快適な市民生活に必要不可欠で大切な施設です。下水道の整備に伴い、住環境の改善や河川などの水質保全を図っています。

下水道事業は、下水道使用料と一般会計からの繰入金を収入として運営しています。このたびは、平成25年度の決算状況をお知らせします。

【普及・汚水処理状況】

下水道整備計画区域内の普及率は97.7%、そのうち下水道接続済の水洗化率は91.0%です。また、汚水処理件数は、昨年度より392件(1.5%)増え、年間有収水量は3万2,340^m3(0.4%)増えました。

【財政状況(収益的収支)】

収入は、年間有収水量の増に伴い下水道使用料が増加しましたが、一般会計からの繰入金の減少などで総額20億855万円となりました。

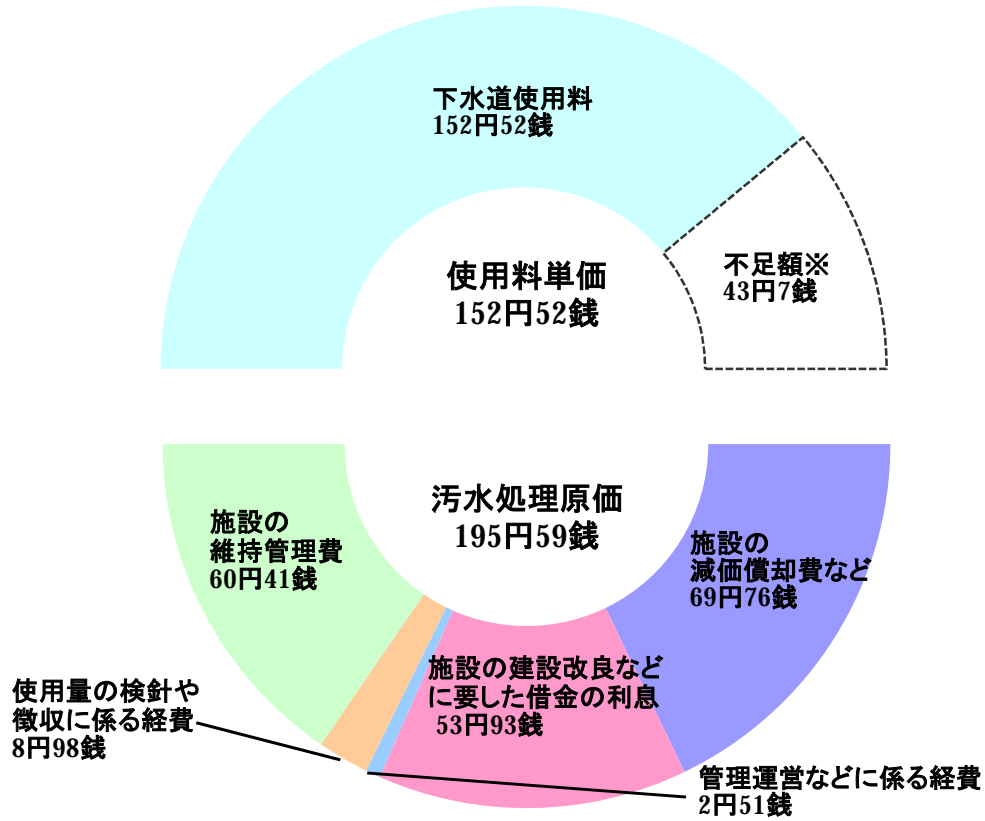
一方、支出は、施設の建設改良などに要した借金の利息の減などで総額19億7,283万円となり、収支は3,572万円の黒字となりました。

【普及率・水洗化率などの対前年度比較】

項 目	平成25年度	平成24年度	増 減	比 率(%)
行政区域内人口(人)	80,065	80,926	△ 861	98.9
整備計画区域内人口(人) A	73,270	73,936	△ 666	99.1
供用開始区域内人口(人) B	71,567	71,852	△ 285	99.6
水洗化人口(人) C	65,137	65,024	113	100.2
汚水処理件数(件)	26,482	26,090	392	101.5
整備計画区域内普及率(%) B/A	97.7	97.2	0.5	100.5
水洗化率(%) C/B	91.0	90.5	0.5	100.6
有収水量(m ³) ※	7,719,362	7,687,022	32,340	100.4

※有収水量とは、下水道使用料収入の対象となる水量

【使用料単価と汚水処理原価（1m³当たり、消費税等抜き表示）】

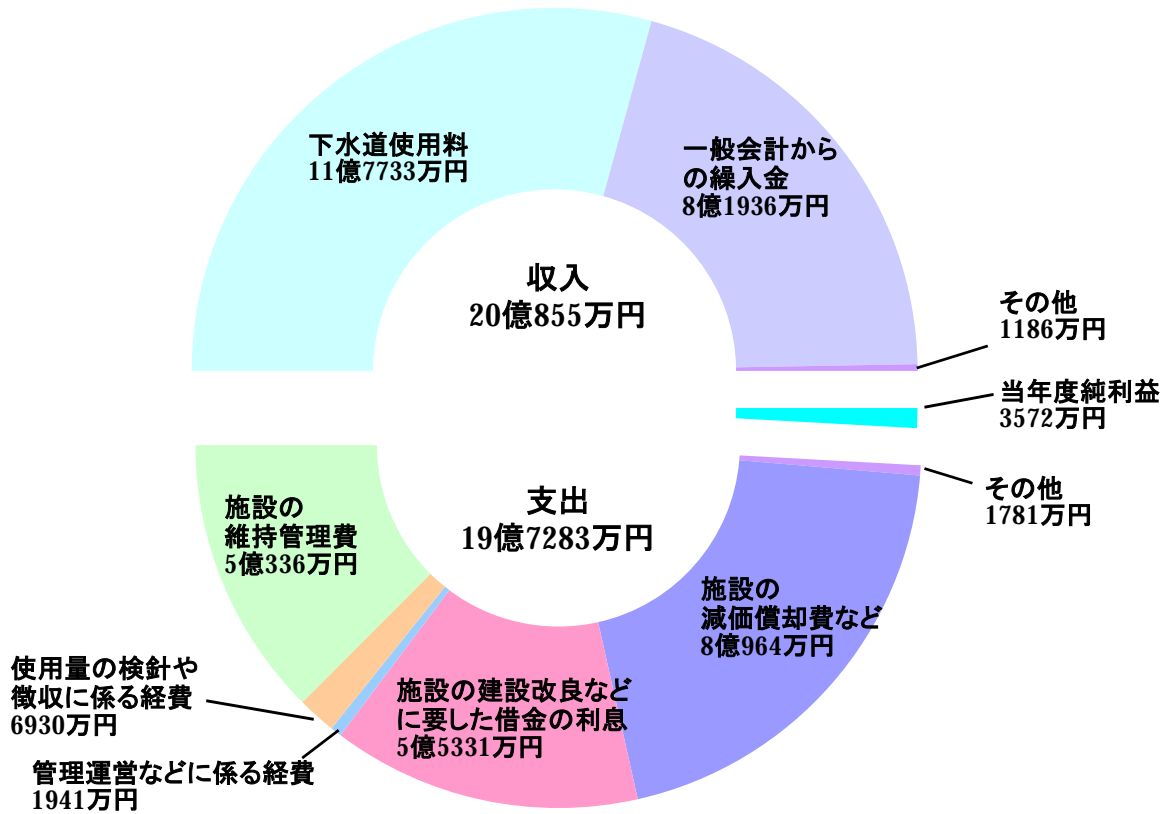


※ 不足額は、一般会計からの繰入金で補てんしました。

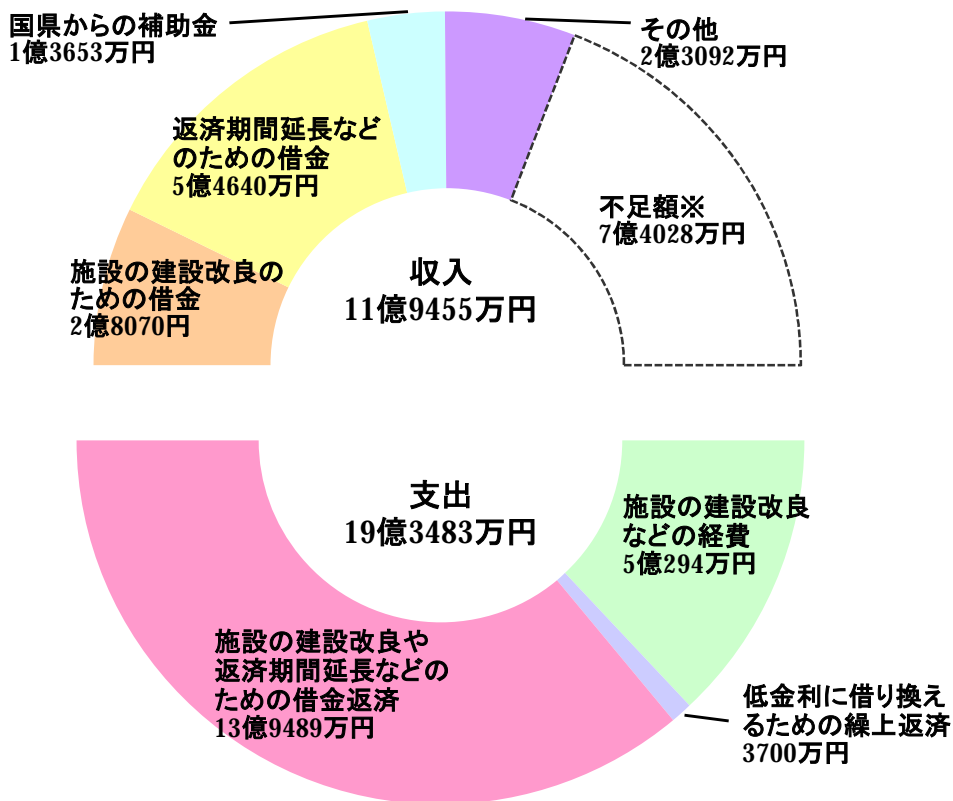
使用料単価…下水道使用料÷有収水量=1m³当たりの汚水に対する下水道使用料の収入

汚水処理原価…汚水処理費÷有収水量=1m³当たりの汚水を処理するために必要な費用

【経営活動に伴う収入と支出 (損益収支のため消費税等抜き表示)】



【施設整備に要する収入と支出 (資本収支のため消費税等込み表示)】



※ 不足額は、施設の減価償却費などの内部留保資金などで補てんしました。

【貸借対照表】

